

○選定理由

【動物・植物・菌類】

コード	区 分	選 定 理 由
1	絶滅	栃木県ではすでに絶滅したと考えられる生物
2	絶滅危惧	栃木県において、絶滅の危機に瀕しているか、その危険が増大している生物
3	減少	栃木県において、かつては普通種であったが、近年著しく個体数、分布範囲、生息・生育面積が減少している、または減少傾向にある生物
4	環境悪化	生息・生育地における環境条件が悪化している生物
5	限られた環境	ごく限られた環境に生息・生育する生物
6	局地分布	分布が局地的で、個体数が少ない生物
7	特異な分布	全国的にみて特異な分布を示す生物
8	分布限界	栃木県が分布の限界となっている生物
9	特産種	栃木県の特産種
10	タイプロカリティ	栃木県にタイプロカリティがある生物
11	希少種保護関連種	希少な淡水魚の産卵貝等、他の希少種の保護上重要な種
12	環境省掲載種	環境省レッドリストに掲載されている生物
13	その他	その他保護上留意すべき生物

【植物群落】

コード	選 定 理 由
a	原生的な群落
b	特殊立地に成立する群落
c	人為的作用により維持されている希少な群落
d	保護上重要な植物種の生育する群落
e	すでに巨樹により構成されている文化的価値が高い群落

【地形・地質】

コード	選 定 理 由
A	教育上、研究上注目すべき地形・地質
B	栃木県の自然を代表する典型的かつ貴重な地形・地質
C	模式地や典型的な岩相を示す露頭
D	貴重な化石等を産出する露頭
E	珍しい鉱石等を産出する鉱山・鉱床
F	上記以外に意味をもつと思われる地形・地質・露頭